

# 2025年12月期第3四半期 決算説明資料

株式会社船場 証券コード:6540

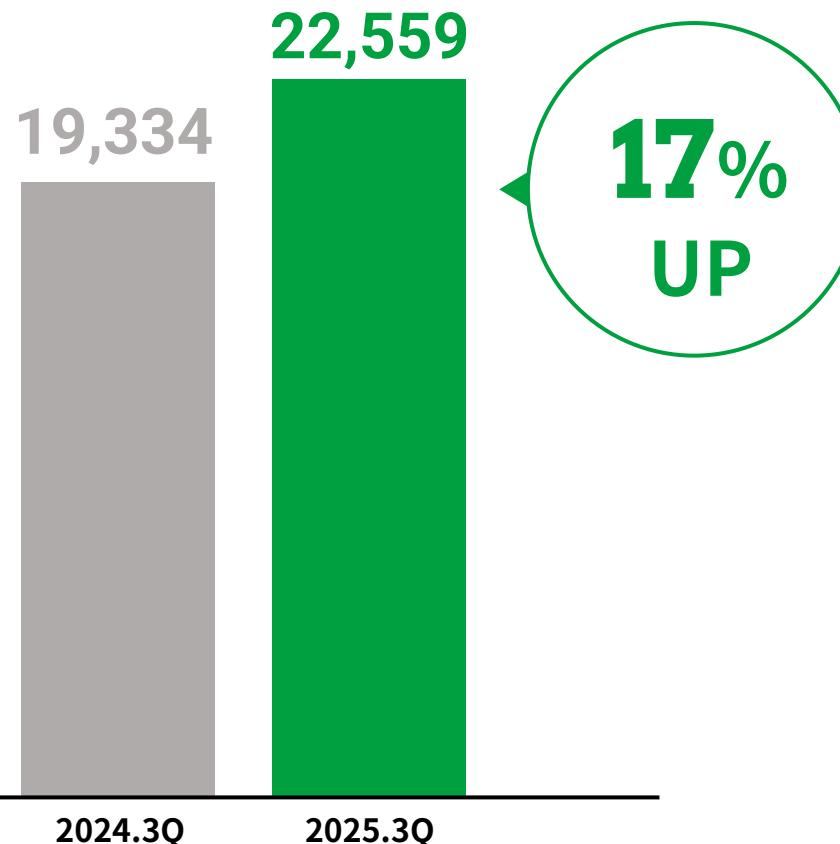
- 1 決算の状況（2025年12月期第3四半期）
- 2 通期業績見通し
- 3 トピックス
- 4 会社概要

# 1

決算の状況（2025年12月期第3四半期）

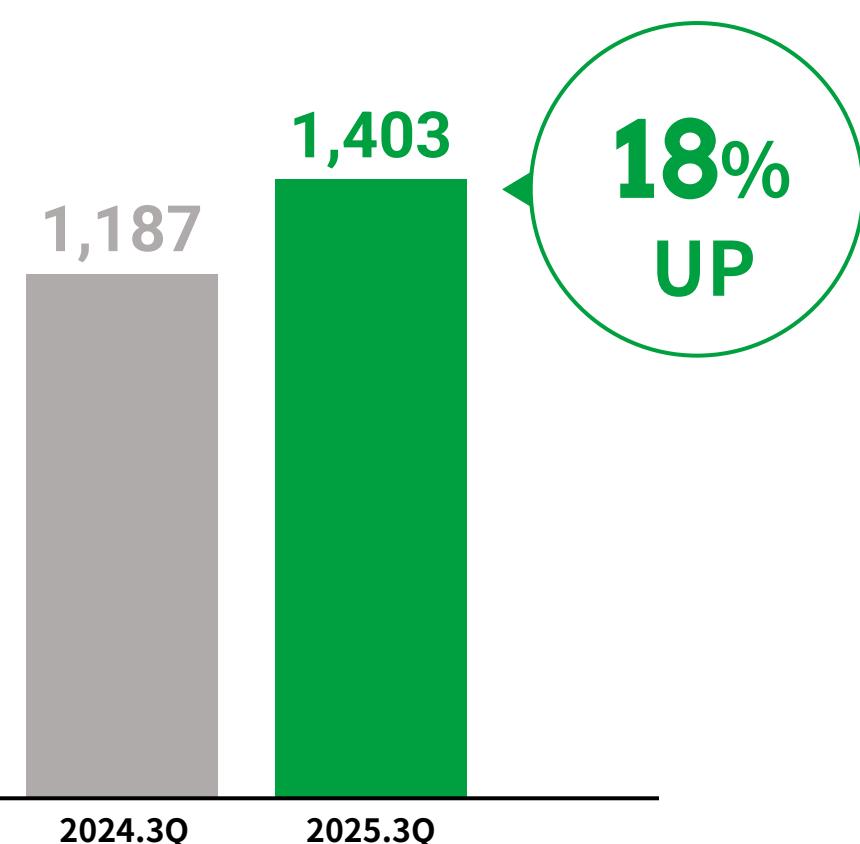
## 業績ハイライト

売上高[単位：百万円]



戦略的営業活動の推進による、オフィス、余暇施設他分野及び専門店の大型案件増加などにより増収。

営業利益[単位：百万円]



売上高増加による利幅の拡大、付加価値の追求、生産性向上に向けた取り組みなどの効果により増益。

## 連結損益計算書

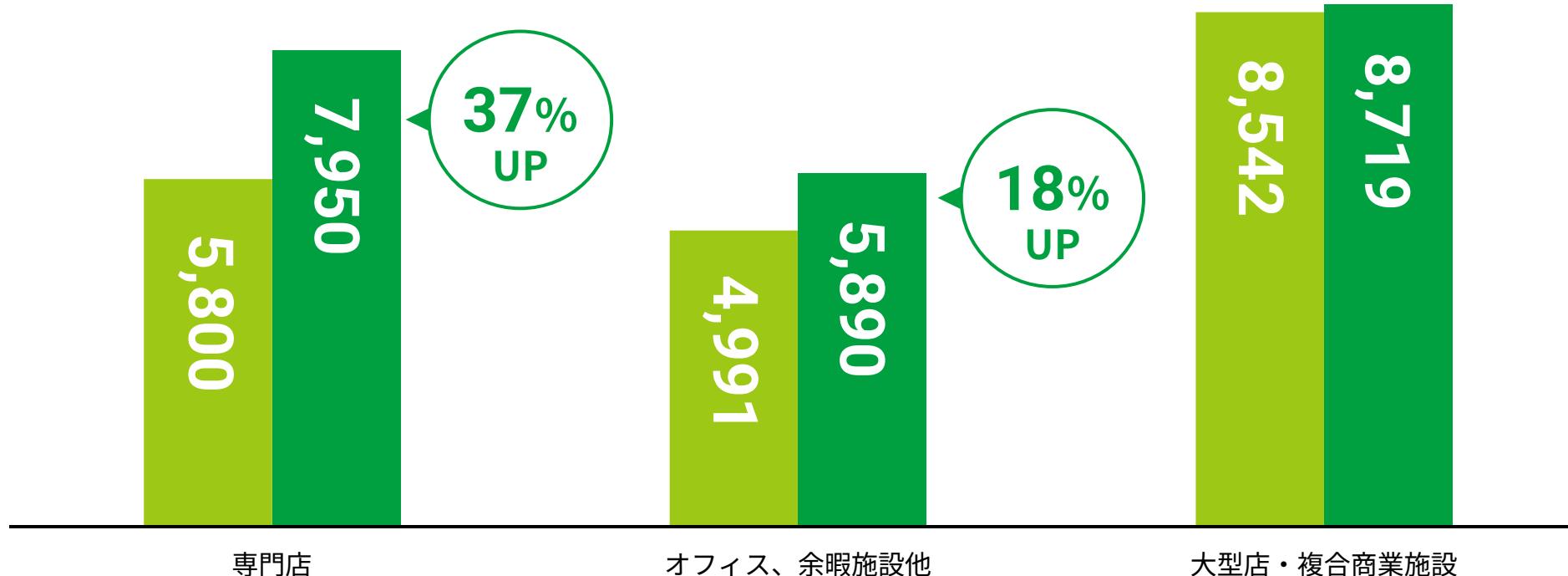
	2024.3Q		2025.3Q			ポイント
	金額[百万円]	構成比	金額[百万円]	構成比	前年同期比	
売上高	19,334	100.0%	22,559	100.0%	116.7%	各分野での売上伸長。オフィス、インフラ施設、専門店において大型案件の受注獲得も寄与し増収
売上総利益	3,725	19.3%	4,210	18.7%	113.0%	売上高の増加による利幅拡大、高付加価値の提供や継続的な工事原価の低減に伴い増益
販管費	2,537	13.1%	2,807	12.4%	110.6%	昇給や賞与引当金、人員増加などにより人件費が増加
営業利益	1,187	6.1%	1,403	6.2%	118.2%	販管費が増加したものの売上総利益の増加に伴い増益
経常利益	1,240	6.4%	1,364	6.0%	110.0%	営業利益の増加に伴い増益
親会社株主に帰属する四半期純利益	932	4.8%	931	4.1%	99.9%	前期は投資有価証券売却益の計上があり、当期は法人税等も増加し減益

## 連結売上高：市場分野別売上内訳

大型案件増加により専門店分野が大きく伸長

売上推移

[単位：百万円] ■：2024.3Q ■：2025.3Q



## 連結貸借対照表

	2024.12末		2025.9末			ポイント
	金額[百万円]	構成比	金額[百万円]	構成比	前期末比	
流動資産	20,972	89.9%	16,983	87.3%	81.0%	取引先への支払サイト短縮などにより現金及び預金が減少
固定資産	2,347	10.1%	2,472	12.7%	105.3%	退職給付に係る資産などの増加
資産合計	23,320	100.0%	19,456	100.0%	83.4%	
流動負債	9,469	40.6%	5,329	27.4%	56.3%	取引先への支払サイト短縮による仕入債務、法人税等の支払などにより減少
固定負債	226	1.0%	233	1.2%	102.9%	預り保証金などの増加
負債合計	9,696	41.6%	5,563	28.6%	57.4%	
純資産	13,624	58.4%	13,893	71.4%	102.0%	配当金の支払いがあったものの、新株の発行・親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他包括利益累計額の増加
負債純資産合計	23,320	100.0%	19,456	100.0%	83.4%	

2

通期業績見通し

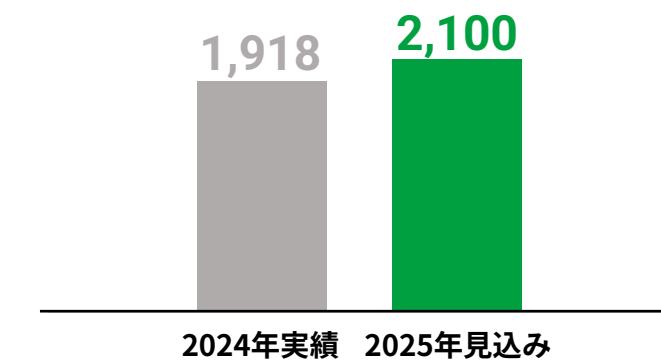
## 通期見通し

期首で掲げた計画達成に向け順調に推移

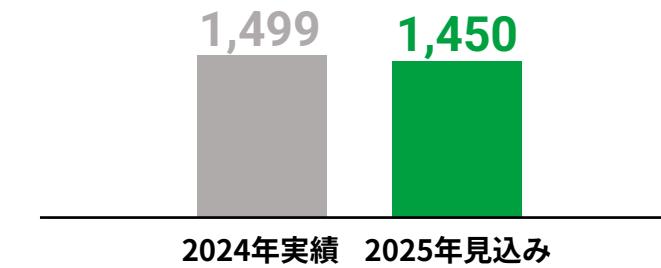
売上高[単位：百万円]



営業利益[単位：百万円]

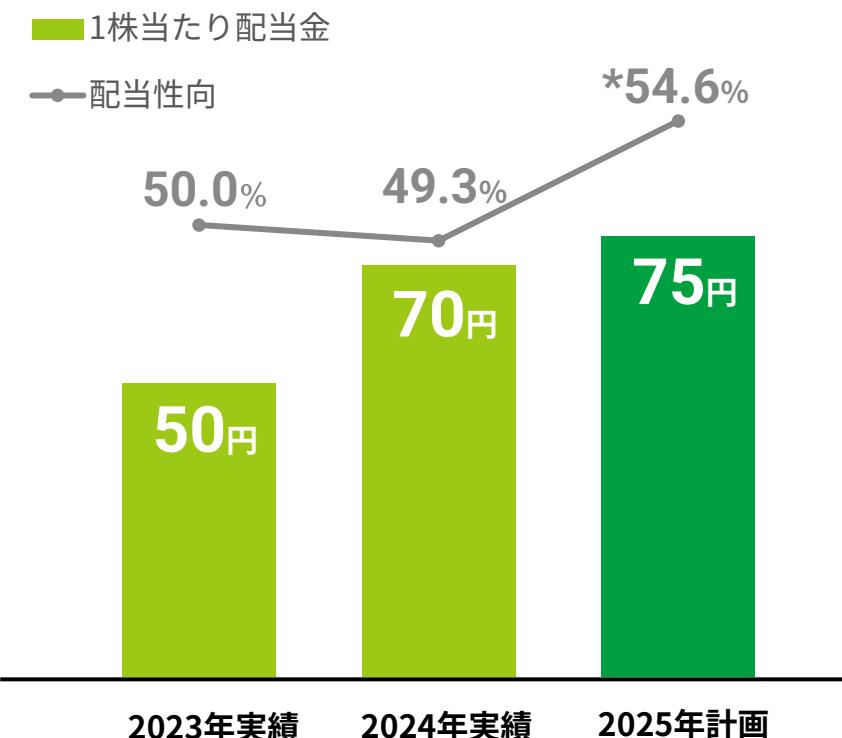


当期純利益[単位：百万円]



## 配当計画

昨年より5円増配予定



\*2025年計画の配当性向は2025年12月期見通しベース

株主の皆様に対する利益還元を最重要経営目標の一つ  
とする基本方針を踏まえた株主還元の実施

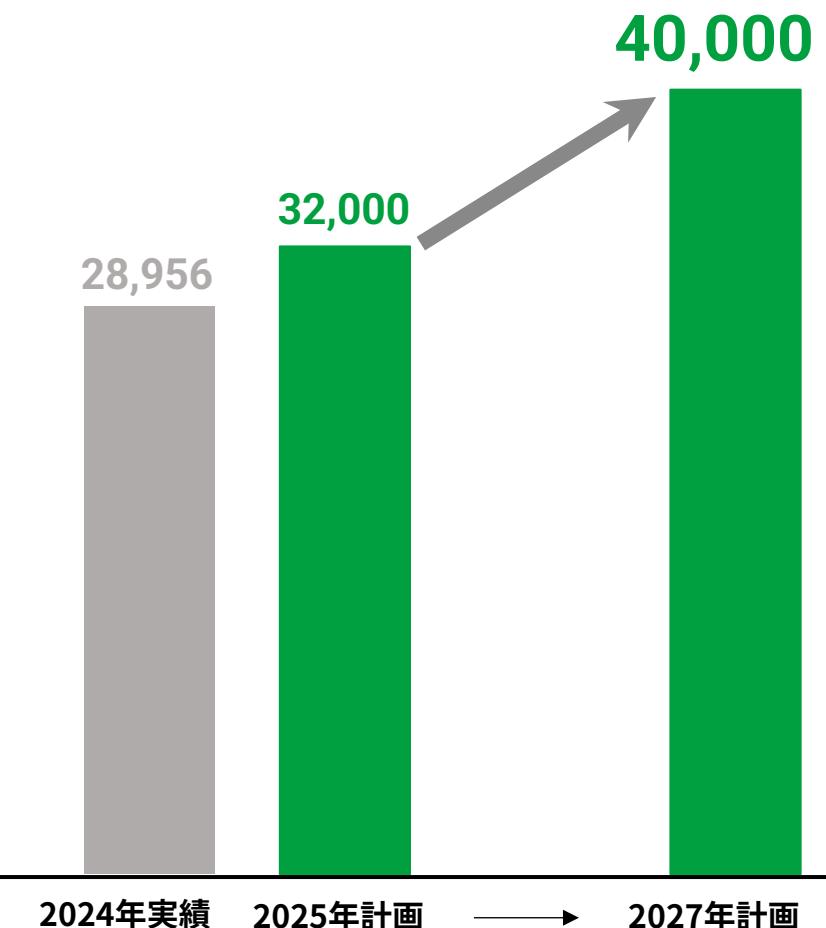
中期経営計画2027（2025～2027年）目標

配当性向

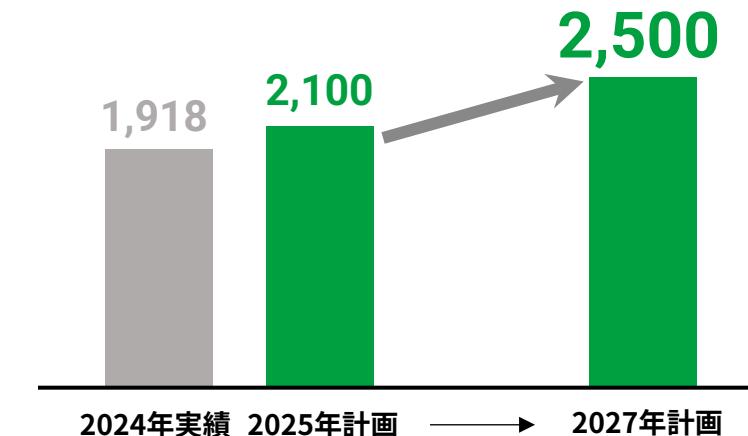
50%以上

## 中期経営計画2027 業績目標

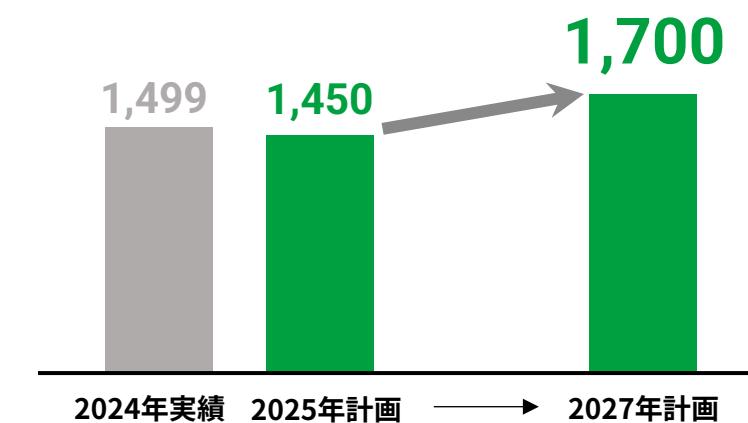
売上高 [単位：百万円]



営業利益 [単位：百万円]



純利益 [単位：百万円]



3

トピックス

# 提携に関する覚書（MOU）を締結

## 船場×BIM分野グローバルリーダーの米Autodesk社

当社とBIM分野のグローバルリーダーの米Autodesk社は共通データ環境（CDE）の構築と業務プロセス改革を目的とした、「戦略的提携に関する覚書」（MOU）を締結しました。本提携により、船場はAutodesk Construction Cloud®（以下、ACC）※を基盤とした全社共通のCDE構築を進め、BIMの活用を一層推進します。さらに、船場が社内向けに独自開発したBIM教育プログラムをAutodeskと連携して外部展開し、業界全体のBIM普及と人材育成を支援していきます。



(株)船場 代表取締役社長 小田切 潤（左）、オートデスク(株)代表取締役社長 / Autodesk, Inc. Japan Sales Vice President 中西 智行（右）

### BIMレベル5逆算した戦略立案

**IM熟練度レベル5までを定義し、そこから逆算してBIM経営戦略を立案、実施している**が、当社は独自にレベル3までを定義し、そこから逆算してBIMデータ活用の立場を立てて、見定めている。

現在、英国BIM熟練度レベルはオートデスクとの戦略的提携（M）に合わせ、将来に向けたBIMレベルの形を描くよう指示を出した。

IMレベル4では、オートデスクの建設クラウドプラットフォーム「Autodesk Construction Cloud（ACC）」と互換システム系ツールを密接連携し、プロジェクト関連の情報をだけでなく、事業運営に関わる情報まで全てを集約し、見える化することで組織がリアルタイムで動ける「経営BIM」を確立する。

その後に描くレベル5の姿は、顧客や協力パートナーも含めた「誰もが直感的に使えるBIMの一般化」だ。空間創造企業の同社が掲げる「アコンビナンス」「クリエイティビティ」と「顧客リレーションシップ」であり、そこに向かうための最適な手段としてBIMを経営戦略の中核に位置付ける。「重要なのは当社の付加価値とは何かを常に考え、最適な選択ができるようにしていくこと」と力を込める。

生成AI（人工知能）の飛躍的な進化によって、蓄積したデータの利活用が多様な広がりを見せる時代になった。オートデスクは9

BIM活用の新たなステージに踏み込む船場は何を重要視しているか。近年はDX（デジタルトランスフォーメーション）を戦略ワードに設定する企業が増えており、が、小田切社長は「DXは全てのデジタル化を含む」といま、目の見えていく。そこでBIMをキーワードが自分事として業務改革を考えるようになる」と語る。

BIM意識は一気に高まりを見せ、ECCT本部設立によって、社内の多くの人が自分事として業務改革を考えていく。そこでBIMをよりよく理解していくことで、社員一人ひとりが自分事として業務改革を考えていく。

レベル5では誰もが直感的に使えるBIMの一般化を目指す

- 建設通信新聞（2025年10月8日～10日）BIM未来予想図「BIMレベル5逆算した戦略立案」は[こちら](#)
- 当社プレスリリースは[こちら](#)

※ Autodesk Construction Cloud® : Autodeskが提供する建設業向けプロジェクト管理のクラウドサービス。図面データのビューイング機能や業務管理機能などでデジタル化・見える化されたプロジェクト管理を実現します。多数のAPIsにより外部アプリケーションともシームレスに連携するデータプラットフォームとしての機能も併せ持ります。



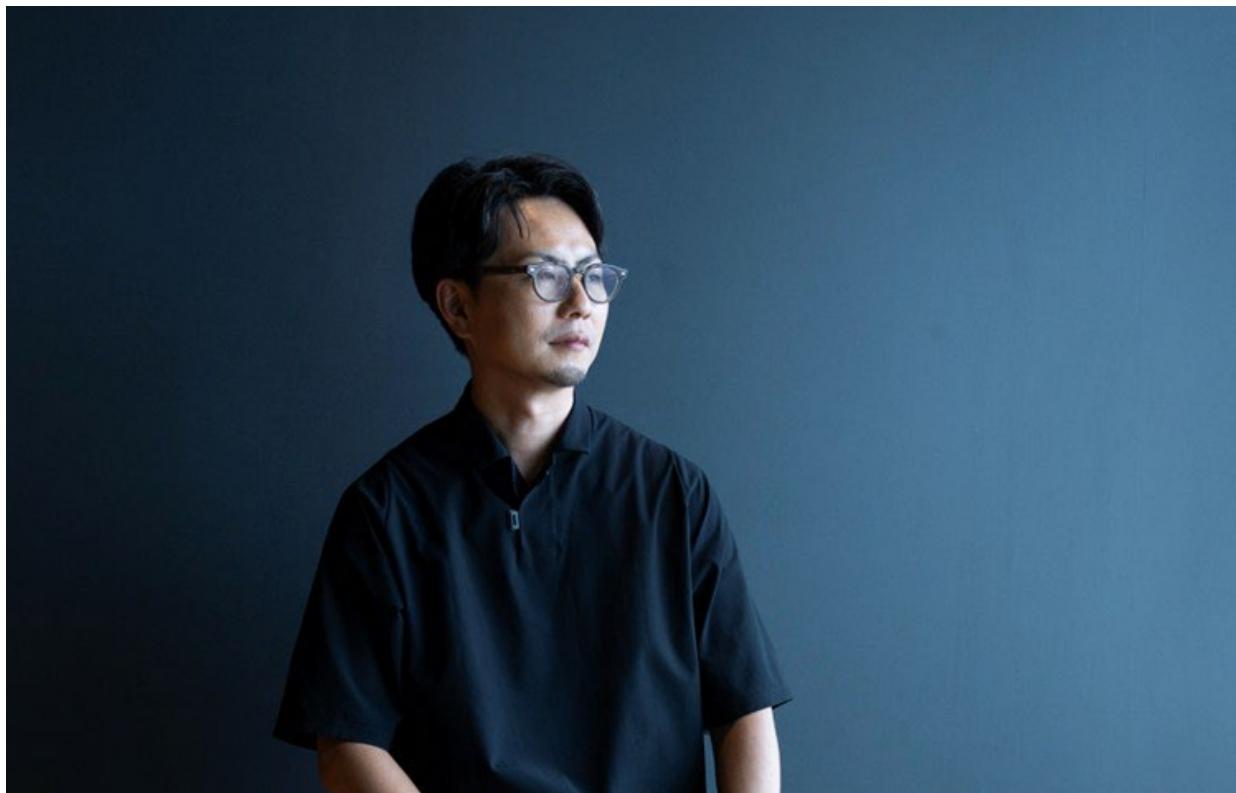
IM熟練度レベルに例え、自社のBIMデータ活用に向けた到達点を見定めている。

オートデスクの中西智行社長は「船場が描くレベルは未来の話をしているようで、実はもう自分の今まで來ている動き」と説明する。BIMデータ活用の対象を設けながら施工に広げ、ACCを基盤実行する「エージェント型AI」機能への対応を発表し、来場者の注目を集めた。

# 船場グループの木工クリエイティブディレクターに大西功起氏が就任

## 3DX木工で先進的な空間表現が可能に

木工ディレクター大西功起氏を、船場及びグループ会社である(株)装備の木工クリエイティブディレクターに迎えました。船場の空間デザイン力に、装備が培ってきた精緻な職人技術と、大西氏のデジタル木工技術を掛け合わせることが可能になり、より独創的で先進的な空間プロデュースを実現してまいります。第1弾の取り組みとして、2025年10月22日（水）より開催された「ETHICAL DESIGN WEEK TOKYO 2025」にて、新たに制作したストリートファニチャーを展示いたしました。

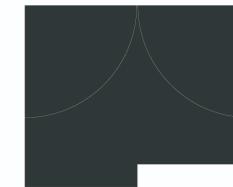
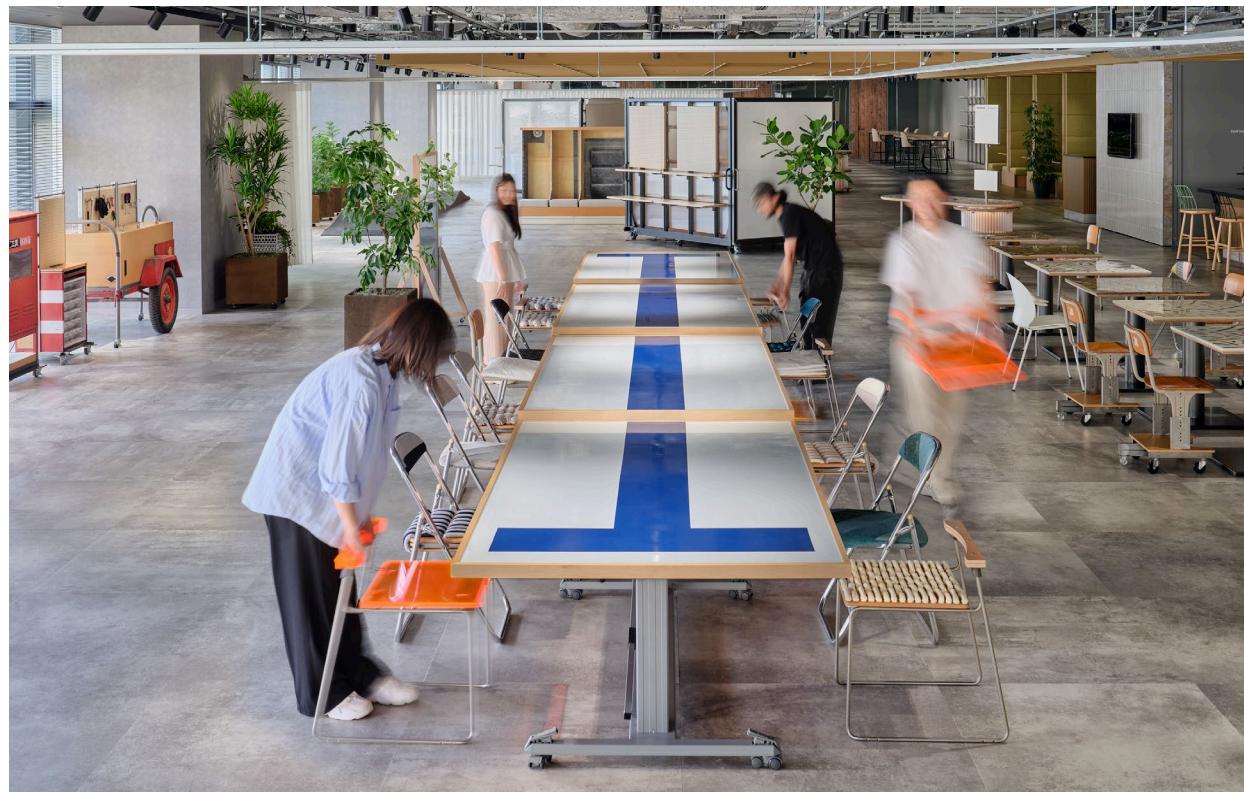


大西功起氏プロフィール

大西功起氏は、岐阜県高山市の大手家具メーカーで生産管理兼職人を経て、2015年に(株)アーティストリーへ入社。家具職人からCNCオペレーターを経て3DX木工技術の発展を牽引し、営業開拓や経営企画、工場改革に尽力。現在は建築、サウナ、車両、アートなど様々な分野にも木工技術を応用している。

# 日本最大級のデザインアワード「日本空間デザイン賞2025」 企業プロモーション空間部門で船場初の金賞を獲得

当社が手掛けたヤマハ発動機(株)の共創スペース「YAMAHA MOTOR Regenerative Lab」が、「日本空間デザイン賞2025」において、企業プロモーション空間部門の最高賞「金賞」およびヤングタレント賞を受賞しました。この空間の制作工程自体が、ヤマハ発動機と船場の“再生にむけた共創”そのものであることや、本施設空間は単に廃材がアップサイクルされて展示されているという場を超えて、ヤマハ発動機の企業姿勢やレガシーを感じられる空間であることを高く評価いただきました。



## KUKAN DESIGN AWARD 2025 **GOLD PRIZE**

- 「YAMAHA MOTOR Regenerative Lab」公式サイトは [こちら](#)
- 本施設に関するプレスリリースは [こちら](#)

運営会社：ヤマハ発動機(株)

公開日：2024年10月25日

所在地：神奈川県 横浜市

担当業務：PM（プロジェクトマネジメント）・CM（コンストラクションマネジメント）

内装設計・施工、造作什器設計・施工、アートワーク企画・展示、ロゴデザイン・サイン制作

撮影：Katsuhiro Aoki

# 地上150m、夜景と重厚感が織りなす、非日常のステーキ体験空間 ウルフギヤング・ステーキハウス 高輪店

ニューヨーク発祥の名店「ウルフギヤング・ステーキハウス」の中で、最高層に位置する特別な一店である高輪店。

当社は、設計・施工を一貫して担当し、東京の眺望とブランドの世界観を融合させ「非日常の高揚感」と「ブランドらしさ」を同時に提供する空間を実現しました。ブランドのアイコンであるモザイクタイルや重厚なウォールナット材を活かしつつ、オリジナルデザインのシャンデリアやアイランド型のガラス張りウォークインワインセラーなどの新たな要素を導入。地上150 mの開放感に包まれながら、記憶に残る特別なひとときをお過ごしいただけます。

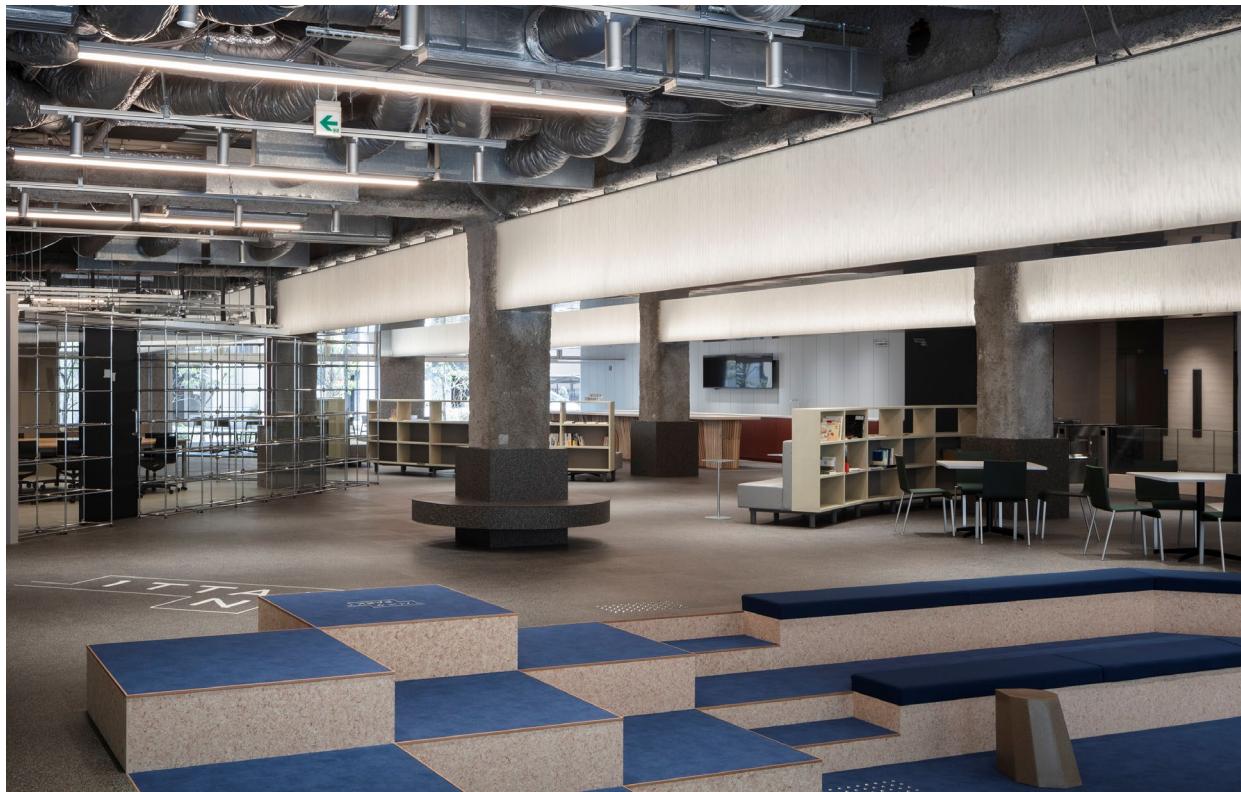


所在地：東京都 港区  
クライアント：(株) Wolfgang's Steakhouse JAPAN  
担当業務：内装デザイン・設計、制作・施工  
撮影：© Nacasa & Partners Inc. FUTA Moriishi

# 好奇心を刺激し、創造性を育むオフィス空間

## 中央復建コンサルタンツ大阪本社オフィス

社会インフラ分野のパイオニアである、中央復建コンサルタンツ(株)の大阪本社オフィスリニューアル。オフィス1階は「1 TTAN（いったん）」と名付けられた開放的な交流エリアへ、4~7階は多様な働き方を支える執務フロアへと刷新され、当社は制作・施工を担当しました。さらに、これまで多様な資源をアップサイクルしてきた経験や、資源循環型の空間づくりの知見を活かし、加工方法やデザイン面での助言・提案などを行い、環境負荷の低い素材を積極的に取り入れました。



所在地：大阪府 大阪市  
クライアント：中央復建コンサルタンツ(株)  
担当業務：制作・施工、技術協力  
撮影：Norihito Yamauchi

# 4

## 会社概要

## 企業概要

会社名	株式会社船場（英文名称：SEMBA CORPORATION）
代表者	代表取締役社長 小田切 潤
創業	1947年（昭和22年7月）
設立	1962年（昭和37年2月）
所在地	〒105-0023 東京都港区芝浦1-2-3 シーバンスS館 9F
事業内容	空間創造における調査・分析、コンセプトメイキング、企画・コンサルティング、デザイン・設計、制作・施工、デジタル技術を活かした空間演出、メンテナンスならびに施設運営。 大型商業施設や飲食店といった商空間から、オフィス、教育、ヘルスケア、ホテル、余暇施設など幅広い分野において、国内および海外5拠点で事業を展開。「未来にやさしい空間を」をミッションに、空間創造の全プロセスを一貫してサポートしていきます。
従業員数	船場グループ542名（2025年9月末）

## 展開拠点 アジア圏に広がるグループネットワーク

### 海外拠点

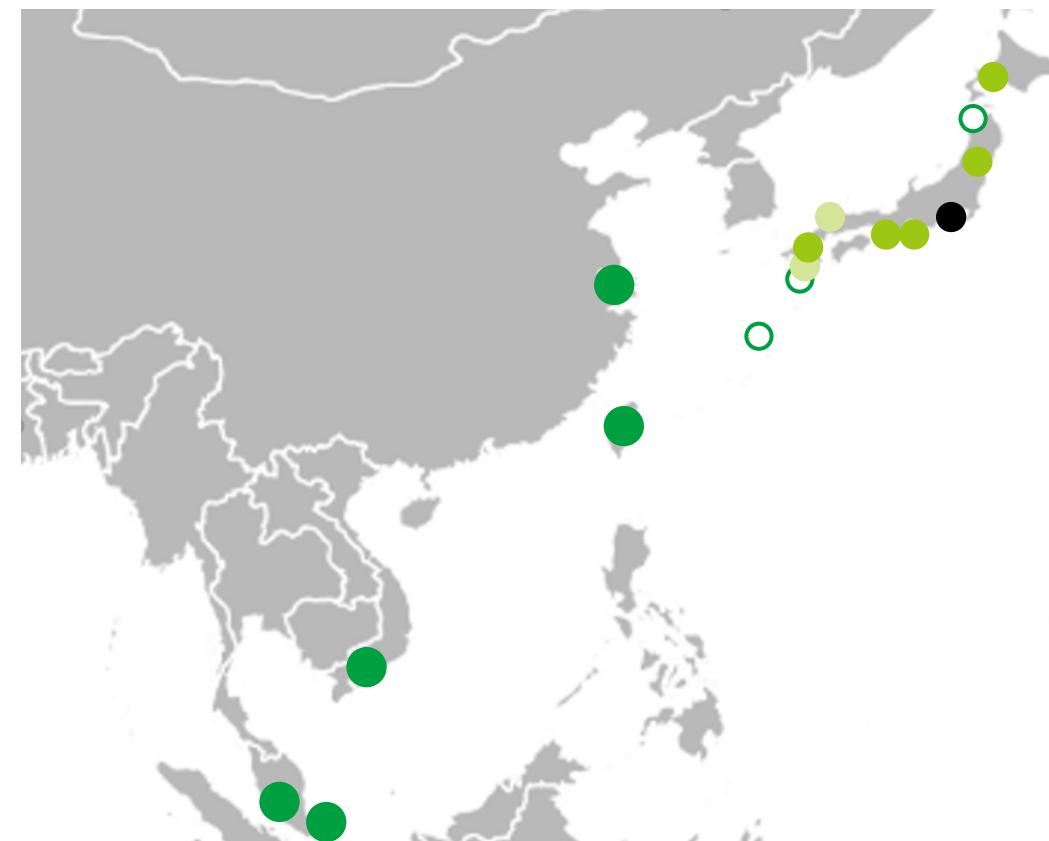
台湾（1987年設立）

シンガポール（1990年設立）

上海（2006年設立）

ベトナム（2013年設立）

マレーシア（2019年設立）



### 東京本社

### 支店

北海道・東北  
名古屋・大阪・福岡

### 生産工場

出雲・熊本

### 地域法人

青森・鹿児島・沖縄

企業理念

# SUCCESS PARTNER

Vision

## ***Good Ethical Company***

### **気のあうエシカルな仲間たち**

空間創造で培ってきた人への配慮や思いやりの姿勢を、地域や自然環境にまで広げ、  
より良い社会の構築を目指すエシカルな存在になります。  
さらに、私たちの想いに共感する仲間を増やし、循環型社会の共創を目指します。

Mission

### **未来にやさしい空間を**

利便性や効率、見た目だけを考えるのではなく、サスティナビリティを意識した  
地球に負荷をかけないという本質的な価値を持つ空間を未来に残していきます。

### 【ご注意事項】

本資料は、将来に関する見通しや計画に基づく予測が含まれております。  
これらの予測及び見通しは、リスク及び不可実性を内包するものであり、  
その実現を保証するものではありません。  
実際の業績等は、様々な要因により記載の予測と異なる可能性があります。

### 【お問い合わせ先】

株式会社 船場 経営企画部  
E-mail : [ir@sembo1008.co.jp](mailto:ir@sembo1008.co.jp)

***Create More Fun  
and More Fans !***